



ただいま!

— あたたかな第2の家庭を目指して —



逆トリックオアトリート大成功



松原第二児童保育所 すまいるクラブ

すまいるクラブでは、三年前からハロウィンの時に仮装をしています。この日に向けて、みんなで衣装を手作りし、お化けにカボチャ、ミイラ、魔法使いなどそれぞれの好きなものになりきります。そして、小学校へ突撃訪問し、衣装をお披露目&職員室に乱入(笑)。通常ならば、子どもたちが大人へ「トリックオアトリート!」の合言葉を言い、お菓子をもろうところですが、すまいるクラブでは「逆トリックオアトリート」でいつもお世話になっている先生方にお菓子をプレゼント。プレゼントの入れ物も子どもたちの手作り。ハロウィン仕様にし、イラストに色をぬったり、紙を貼ったり折ったり……と楽しみながら作っています。児童に戻ると一転して「やるときはやるぞ!」モードに。この日もいつもどおり「宿題しなきゃ!」と言いながら、仮装したままテーブルに向かう子どもたち。その姿は、表情は真剣ながらも格好は……(笑)。真面目なのか、そうではないのか、とってもシュールな光景でした。

(指導員 五十嵐千佳)

～秋・冬活動紹介～

寒さや病気に負けない 元気な子



親子で手作りピザ

ひまわりクラブ(泉第一)

平成二十九年度ひまわりクラブの親子レクは、『親子で手づくりピザ作り』でした。九月二十四日に遊佐町のしらい自然館をお借りして、三十二家族、八十一名が参加されました。

企画運営に参加して、一番大変だったのは開催日程を調整することでした。施設の空き状況に合わせるのももちろんですが、学校行事やスポ少の大会、兄弟・姉妹の予定などなど、よりたくさんの方が参加出来るように配慮したいと思って、みんなの都合がつく日は皆無。残念ながら参加出来なかったみなさんには本当に申し訳なく思っています。そして、今ま



包丁、上手に使えるかな？



世界に一つだけのピザ完成

で何気なく行事に参加してきましたが、運営して下さいいた方々のご尽力に改めて感謝したところです。

さてピザ作りですが、学年オーブンの親子班で、調理・会食を行いましたが、粘土のように生地をこねるのが得意な子や包丁を使って具材を切るのが得意な子、アーティスティックなピザを創作した子などなど、各自が特技を發揮して、世界に一つのピザを作っていました。上級生が下級生をサポートする場面もみられ、日頃の活動でも、兄弟や姉妹のように仲良く過ごしているのかな？と思ったりました。

自然豊かな環境にあるしらい自然館は、ピザ作り以外にもたくさ

んの体験メニューがあるそうです。また、ピザ釜リニューアルの予定もあるそうなので、ご家族やお仲間とご利用されてはいかがでしょう。か。(親子レク担当 中野あゆみ)

琴のミニコンサート

わくわくクラブ(若浜)

九月十一日、若浜学区にお住まいの伊藤良子さん、若浜学童の運営委員の松川てい子さんより琴の講師としてお越しいただき、琴のミニコンサートをを行いました。六台の大きな琴を見てびっくりしていた子ども達。「赤とんぼ」「世界に一つだけの花」「ドラえもんうた」などみんなが知っている曲が流れると、音楽に合わせて楽しそうに歌っていました。「Kのための斗為巾」「小さい秋みつけた」は、ほとんどの子が初めて聞く曲



どうやって弾くのかな？

だったようで、演奏者を見つめる眼差しと、琴の綺麗な音色を聞くうとしているみんなの表情は真剣そのものでした。

実際に琴を触って「さくら」の曲を弾く体験もさせていただきました。一から三年生は少し難しかったようですが、四年生以上は譜面を見ながら自分で弾いていました。終わりの声掛けをしても琴から離れようとしないうちも達達でした。コンサートの初めに「琴ってわかる？」という、松川さんからの質問に、大半の子も達が「わからなくない」と答えていましたが、終了後には、「色々な演奏が聞けて楽しかった」「初めて弾いて楽しかった」などの感想がありました。



そうそう♪ 上手だね

子ども達にとって、日本の伝統楽器に触れることができた貴重な一日になったと思います。

(指導員 成田 好)

メリークリスマス

よっぱクラブ(亀ヶ崎第二)

十二月二十五日は、子ども達が楽しみにしていたクリスマス会がありました。冬休み初日ということもあり、子ども達は朝から元気がいっぱい。

司会は高学年男子にお任せすると、ちょっと緊張しながらも場を盛り上げてくれました。

学童へのクリスマスプレゼントをお披露目した後は、子ども達の出し物の時間です。歌やお笑いの発表、縄跳びやけん玉などの特技



クリスマスソングを元気いっぱい歌ってくれた一年生チーム

の披露など、この日のために短い時間の中で頑張って練習してきた子ども達。自分達でセリフや振り付けを考えたとは思えないほど、



ジュースを片手にみんなで「カンパニー」

第六回ドッジボール交流大会

がくほれんの恒例のドッジボール交流大会も第六回を迎え、昨年の十一月十九日に八幡体育館で二八三名の児童の参加を得て実施。本年は、少し趣向を変え、三年生以下の低学年の部と四年生以上の高学年の部に分けました。低学年の部は、学童単位の十四チーム、高学年の部は、学童合同の四チームで熱戦を繰り広げました。

試合終了後には、酒田市子ども育成会連合会の須田会長を講師に迎え、じゃんけん行列、大脱走、うなぎとつぼ等のお楽しみゲームで「遊びの学校」を満喫しました。

ブロック	優勝	準優勝	がんばったで賞
低学年の部	A 松原第一	宮野浦	田二 浜泉 第 二
	B 松 陵	若 浜	亀ヶ崎第二 泉 第 一
	C 松原第二	南平田	亀ヶ崎第一
	D 平 田	富士見	琢 成
高学年の部	三 平	チームGOD	舟の泉の亀さんチーム ハッピーズ

※成績は次のとおり

子ども達は楽しく過ごしたのと思われませんが、当日は冷え込みも激しく寒い中、保護者の皆様、大変ありがとうございました。

どれも工夫された出し物でした。見ている子ども達も音楽に合わせてリズムを取ったり、大きな声援を送ったり、みんなで楽しんでいく様子が伝わってきました。

その後はビンゴゲームを楽しみ、おやつ時間は、みんなで「メリークリスマス！」と大きな声を揃えてジュースで乾杯。ケーキもペロリと食べてジュースもおかわりして大満足の様子でした。お腹もいっぱい、笑顔もいっぱい、のっとも楽しい時間となりました。思い出に残るクリスマス会になったね。

(指導員 齋藤あすか)



「雪遊び、サイコー！」(平田)



「雪のベッド、きもちい〜」(亀ヶ崎第一)



「スノーマン!？」(泉第二)

「エナジードリンクの『カフェイン』のリスクを知ろう」

平成二十七年十二月、九州地方に住む二十代の男性がカフェイン中毒で死亡していたことが報道されました。男性はカフェイン入りの清涼飲料水を眠気覚ましに常用しており、血液から致死量のカフェインが検出されたのでした。米国では、二〇一一年にメリーランド州の十四歳の少女が、二十四時間で700ml入りモン〇ターエナジ12本(カフェイン計480mg)を飲んで死亡しました。死因は「カフェインの毒性による不整脈」です。

カフェインは眠気を抑えたり、集中力を高めたり、血管を拡げて血液の流れを良くする働き、消化

管を刺激して胃酸の分泌を促す働きも有ります。摂りすぎると、頭痛や不眠、吐き気、震え、心拍数の増加(心臓がバクバク)となり、落ち着きが無くなった(イライラ)、焦りがでるような「カフェイン中毒」になります。

コンビニで販売されているレッド〇ルには250ml缶で80mg、モン〇ターエナジは355ml缶で142mgの、リポ〇タンDの100mlには50mgのカフェインが含まれます。

カフェインの効果には個人差があり、体格の小さい人は少量でも一日量(大人は500mg)を超える恐れがあります。子どもはカフェインの排泄が遅く、大人が四時間で

みんなで作ろう手作りおやつ

「しっとりもちり! 塩ハチミツロール」

今回は



◆材料(6~8枚分)

- 卵 1個
- はちみつ 大さじ1
- 塩 ひとつまみ
- 牛乳 200cc
- 薄力粉 100g
- 生クリーム100g
- フルーツジャム 適宜

◆作り方

- ①ボウルで卵を溶きほぐしはちみつ・塩・牛乳を混ぜる。薄力粉をふるって混ぜる
- ②油をしいたフライパンを中火で熱して、おたま1杯分をいれて薄く伸ばして焼いていく
- ③表面が乾いてこんがり焼き色がついたらひっくりかえす
- ④30秒ほど焼いたらバットに取り出し荒熱をとっておく
- ⑤生クリームとフルーツジャムを混ぜて、焼いたクレープに薄く伸ばしながら塗って行く
- ⑥くるくる端からまいていって、真ん中を包丁でカットすれば完成 (後藤)

あとかぎ

今年は、全国的に厳しい寒さとインフルエンザの猛威に悩まされた冬となりましたが、子ども達は病気に負けず季節を楽しみ、たくましく学童の生活を過ごしているようです。毎日の遊びを通して、心身ともに健康な人になってくれたらと思います。

(杉山)

ご寄付を

ありがとうございます

田宮和朗様

(酒田市みずほ)

田宮様は、お医者さんであることから、子ども達の健康管理に役立つものの購入に当てさせていただきます。

三年続けてのご寄付、ありがとうございました。

排泄となるとその三〜四倍、乳児は100時間近くかかります。「大人の半分量」をお子さんに飲ませるのは危険です。

スポーツ等の運動の後、エナジードリンクを子どもたちに飲ませるのは、控えましょう。(義朗)